

2023年度 ポーラ・オルビスグループ入社式を開催

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス(本社:東京都中央区、社長:横手喜一)は、2023年4月3日にポーラ・オルビスグループ入社式を開催し、計36名の新入社員を迎えました。入社式では、当社代表取締役社長横手喜一から新入社員へ期待を伝えました。以下、社長メッセージの要旨を紹介します。

ポーラ・オルビスホールディングス代表取締役社長メッセージ(要旨)

ポーラ・オルビスグループによるこそ。

本日は、株式会社ポーラ23名、オルビス株式会社6名、ポーラ化成工業株式会社7名、合計36名の新入社員の皆さんに一同に集まっていただきました。ポーラ・オルビスグループを選んできたこと、心より嬉しく思います。皆さんにとってスタートの機会に、私から皆さんに、どんな仕事をしてほしいかを伝えたいと思っています。



1. 『で』仕事ではなく、『が』仕事を

『で』仕事というのは、会社に入って、何らかの仕事の担当をし、先輩や上司に「これ『で』いいですか」と言って提案する仕事です。先輩や上司が確認できるということは、組織の中に、明らかな答えや確信はなくても、答えらしきものがあるということです。一方、『が』仕事というのは、先輩や上司に「これ『が』いいんです」といって提案する仕事です。組織の中に答えがないもの、前例がないものだから、「これ『が』いいんです」と提案することになるわけで、それは先輩や上司からすると、驚きを引き起こすことになるかもしれません。

つまり、『が』仕事というのは、1人1人の気づき、こだわり、アイデアから生まれてくるわけで、主体的な仕事だといえます。皆さんが本来もっている自分らしさや主体性を発揮し、『が』仕事を実践していくことで、ポーラ・オルビスグループが変化するための原動力になってほしいと思っています。そして『で』仕事ではなくて、『が』仕事をいたるところで繰り返していただきたいと願っています。

2. 自分らしさを常に変化させ、自分らしさの可能性を広げること

自分らしさとは何かを、今一度考えていただきたい。自分らしさとは、自分の意思、価値観、こだわり、性格、強み、得意といった特性につながるものと理解されるでしょうが、自分らしさを固定的、限定的に考えてはなりません。自分らしさというものは、常に変化していく可能性もっています。今後、皆さんは予期せぬ状況や、想像していなかった変化に、直面するはずです。その時、変化や偶発性に、自分らしさをオープンにして、どう向き合っていくのかが問われます。想定外や変化を楽しもうとすること、好奇心をもつことが、自分らしさをさらに変化させてくれるでしょう。

本日は、ポーラ・オルビスグループの仲間となった皆さんが、感受性のスイッチを全開にしながらか自分らしさを発揮し、自分らしさを変化させ続けることで、グループが変化していく。そして、その変化の積み重ねが、グループの魅力さをさらに磨き上げてくれる、そんな未来を実現したいと思っています。ともに変化していきましょう。

以上

【報道関係者の皆様からのお問合せ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp
※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話が繋がらない場合はメールにてお問い合わせください。